高等部２年「体育」授業実践

「サッカー」の学習

交野支援学校四條畷校高等部
久保　良介

１．日時　　平成２９年１０月２５日（水）　第３・４時限（１１：００～１２:１０）
２．場所　　体育館
３．学部・学年・組　高等部　第２学年（１～３組）　２６名（男子１７名　女子９名）
４．単元名　　「サッカー」
５．単元目標　　・「蹴る、止める、運ぶ」の基本的技能を身につける。
・チームで喜びを共有し、楽しむことができる。
・仲間の動きを見てパスやドリブルをすることができる。（グループ A）

６．生徒観

本校高等部２年生の体育科の授業は、２６名の生徒を発達段階や身体の状況に応じて、単元ごとに課題別グループに分けて実施している。本単元は３つのグループに分けて実施する。本授業の対象生徒は、３つのグループの中で、より高い課題に取り組む男子１１名女子４名の計１５名のグループである。障がいの種類は、知的障がい、自閉症、ダウン症などである。

本グループは、体育の授業が好きな生徒が多いものの、意欲的に活動することに不安や恥ずかしさを抱いている生徒が多い。運動能力の個人差は大きいが、指導者の説明や指示を聞きルールやマナーを守ろうする様子が見られる。運動が苦手な生徒も指導者が運動の模範を示し言葉かけをすることで活動に取り組むことができている。

高等部も２年目になり、普段の生活や授業の中で様々な経験を積み重ねることにより、一人ひとりの運動能力や日常生活動作など自己の課題に対して進歩が見られる。学校生活などでは、仲間意識や協調性を伸ばすような取り組みも行っているが、普段の様子からそのような意識は十分に育っていないように感じられる。学校生活はもちろん、卒業し社会に出るときにも、一人ひとりの持つ資質や能力だけでなく、集団の中で、他者を思いやり、協力して取り組む力も大切である。体育の授業でも、一人ひとりの運動能力や身体機能の向上を目指すだけでなく、仲間意識や協調性、他人を思いやる気持ちを身につけることを目標として取り組んでいる。

７．教材観

高等部２年生では、ボールに関わって身体を動かすことで、自分の身体を自分の思い通りに動かすことができるように、主運動として年間を通して球技を行っている。また、仲間と一緒に喜びを共有したり、友だちと協力して目標を達成する楽しさを実感できるように集団競技を教材として選定している。

１学期にベースボールを行い、手でボールを「投げる」、バットを用いてボールを「打つ」技能を習得した。２学期はサッカーを行い、ボールを足で扱う技能を習得させたい。

サッカーは手を使わずに足でボールを扱わなければならないため、他の競技に比べて、技能の習得には時間が必要となる。それだけに、技能の差がはっきり出ると、授業に対する意欲を失う場合がある。そこで、練習メニューにレクリエーション的要素を多く取り組むことで楽しみながら活動できるよう工夫していきたい。また、サッカーは、世界や国内でも人気のスポーツであり、するだけでなく、応援する楽しさも同時に感じることで、生涯スポーツへとつなげたい。

８．指導観（Ａグループ）

本単元では、運動に積極的な生徒達の意欲を大切にし、サッカーの基本的技術であるボールを蹴る（キック）、止める（トラッピング）、運ぶ（ドリブル）等を個々に目標を持って、できたことに対しては、積極的に褒め“自分はできるんだ”という達成感を持って取り組める授業にしていきたい。その中で、仲間と協力すること等を学び、コミュニケーションを取りながら楽しく授業に参加し、ゲームを自分の技術の発表の場となるようにした。また、１対１の形にしたり、４対４の集団でのゲームをしたりすることで、勝敗を競い合いながらサッカーの楽しさを感じ取ってほしい。

本時の学習過程

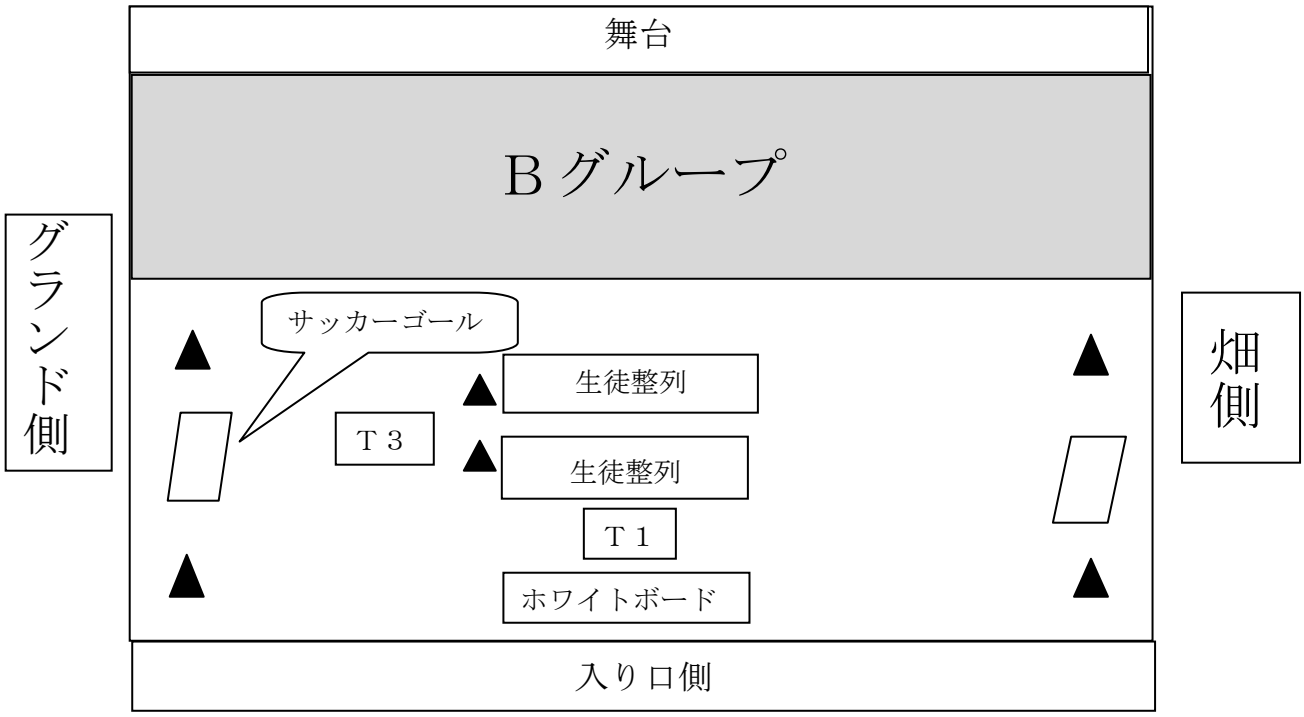
時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援のてだて等	評価規準
15分 導 入	○集合 ・各クラスに整列をする。 ・各クラスの体育委員による出欠確認を行う。 ○隊列整理・挨拶 ・各クラスに隊列を組み、指名された体育委員が始まりの挨拶をする。 ○本時の説明 ・本時の説明を聞く。 ○準備体操 ・２組の指名された生徒を基準に体操隊形に広がり、ラジオ体操とストレッチをする。 ○ランニング ・１組、２組、３組の順番で歩き始め、笛の合図でランニングを開始する。	・各クラスに配置されたコーンに整列するよう指示を出す。 ・各クラスの体育委員から出欠の報告を受ける。 ・授業の始まりが意識できるように、隊列や姿勢を正すように言葉がけをする。 ・号令する生徒を指名し、号令をかけるように指示する。 ・生徒の様子を観察し健康状態を観る。 ・ホワイトボードを使用し、グループに分かれるまでの流れを説明する。 ・基準となる生徒を指名し、体操隊形に広がるように指示をする。間隔が狭い場合には、手を大きく広げ回転して周囲に当たらないように指示をする。 ・ラジオ体操第一の曲をかける。 ・模倣を示し、隊列の前でラジオ体操、ストレッチを行う。 ・１クラスずつスタートするように指示をする。 ・ランニングの曲をかける。 ・生徒と一緒にランニングを行い、ランニングを促すような言葉がけを行う。	

	○休憩 ・水分補給をする。 ○集合及び移動 ・授業の初めの隊列で集合する。 ・各グループの集合場所	・水分補給をするように指示を出す。 ・生徒の様子を観察し、体調が悪い生徒がいないか確認する。 ・タイム掲示板を１分３０秒に設定する。 ・各クラスに配置されたカラーコーンに整列させる。 ・グループ毎に所定の場所に分かれるように指示をする。	
45分 展開	○A グループ集合、準備及び本時の説明 ・各チームのゴールを運ぶ。 ・体育館の入り口側に集合する。 ・その場に座り指導者の指示とホワイトボードを見て流れを確認する。 ・各チーム練習を行う。 ・指導者の前に集合して話を聞く。 ・各チームでミーティングを行う。	・安全面に配慮するよう言葉がけを行う ・コーナーキックポイントにコーンを置く。 ・指導者の前に集合するように指示をする。 ・ホワイトボードを使用し、視覚支援を用いて本時の流れを説明する。 ・各チームにビブスを渡す。 ・各チームのキャプテンにキャプテンマークを渡す。 ・各チームのキャプテンを中心に５分間自主練習するように指示をする。 ・笛の合図でボールを片付けて集合するよう指示をする。 ・各チームの良かった点を述べる。 ・各チームで３分間ミーティングを行うよう指示をする。 ・作戦ボードを両キャプテンに渡す。 ・どのような発言や意見があるか巡回して様子をみる。 ・ミーティングが終わったチームから整列するように指示をする。 ・試合のルールを確認する。	・チームで一丸となって取り組むことができている。【関心・意欲・態度】 ・チームで一丸となって取り組むことができている。【関心・意欲・態度】

		→①試合は前後半６分で行う。 ②キーパーはなし。 ③ボールが外に出た場合キックインで試合を再開する。 ④前半組（４人）と後半組（３人）で試合に出ていない時は応援する。	
	○集合 ・指導者の前に集まってルールを聞く。	・前半メンバーは整列し、後半メンバーはベンチに座るよう指示を行う。 ・タイム掲示板を６分に設定する。 ・各チーム１名を指名して代表でジャンケンをさせ、勝ったチームにボールを渡す。	
	○試合 ・指導者の指示に従って整列する。 ・指名された生徒はジャンケンを行う。 ・指導者の指示に従い試合を開始する。 ・指導者の指示に従い試合を開始する。 ・各チーム整列する。	・ホイッスルで試合開始の合図を行う。 ・生徒が主体的に取り組めるような言葉がけや支援を行う。 ・ホイッスルで前半終了の合図を行う。 ・後半メンバーは整列し、前半メンバーはベンチに座るよう指示を行う。 ・ホイッスルで後半開始の合図を行う。 ・生徒が主体的に取り組めるような言葉がけや支援を行う。 ・ホイッスルで試合終了の合図を行う。 ・各チーム全員整列するように指示をして大きな声で挨拶するように促す。 ・全員で協力して片付けを行うように指示をする。	・試合のルールを理解して活動に取り組むことができる。【知識・理解】 ・周りの状況を意識しながら基本動作を行うことができている。【技能】 ・チームの仲間の名前を呼んだり、応援したりすることができている。【思考・判断・表現】 ・試合のルールを理解して活動に取り組むことができる。【知識・理解】 ・周りの状況を意識しながら基本動作を行うことができている。【技能】 ・チームの仲間の名前を呼んだり、応援したりすることができている。【思考・判断・表現】

	○片付け ・使用した用具を片づける。 ・ビブスは各チームで番号順に集める。		
10分 まとめ	○集合、まとめ ・指導者の前に集合する。 ・本時を振り返り次回の予定を聞く。 ○挨拶	・指導者の前に集合するように指示をする。 ・本時の振り返り及び、感想を聞く。 ・感想を話したい生徒を募り、一人を指名する。 ・全体の様子について講評を述べる。 ・次回の予定を伝える。 ・怪我の有無を確認する。 ・授業の終わりを意識できるように姿勢を正すように言葉かけをし、号令をかける。	

グループ別集合時



授業の振り返り

【授業での反省・振り返り】
・生徒の健康観察チェックでは、その情報を共有化する体制がとれているか。
・生徒に体調が悪い（ケガ）時はすぐに連絡するようにと口頭で指示すること。その指示によって、生徒自身が健康面を意識するようになる。
・集合や運動内容も計時版を使い、時間を意識させながら行なっている点が良かった。

＊体育・球技の目標…体育を通じて、生徒の自立・社会参加（支援教育の目標・知的障がい教育の目標）に具体的にどうつなげるのか。この大きな柱を忘れないこと。
①生徒の実態に適したルールを工夫して、生徒が楽しくスポーツに参加できるようにする。
②きまりやスポーツのルール等を守り、友達と協力して安全に運動をする。
＊主体的な活動による運動量を確保（体力づくり）
＊社会性（ルール等）の育成
＊協力・協調性の育成・・・仲間づく/思いやり等
＊余暇の活用(スポーツを楽しむ)
（特に体育の場合、緊急対応はどうするのかをしっかり考えておくこと。また、ケガがあった場合、たとえ小さなケガでも必ず管理職に報告すること。保護者には連絡帳で知らせただけで済ませないようにする。）